

令和4年12月期 決算補足説明資料

令和5年2月13日

 多木化学株式会社

目次

令和4年12月期 決算業績概要 3

令和4年12月期 業績概要（連結）	4
業績の推移（連結）	5
令和4年12月期 セグメント売上高（連結）	6
令和4年12月期 セグメント利益（連結）	7
主要経営指標（連結）	8
貸借対照表（連結）	9
キャッシュ・フローの状況（連結）	10
キャッシュ・フロー関連指数の推移（連結）	11
配当の状況	12
連結経営指標等の推移	13

セグメント別実績 14

アグリ事業	15
化学品事業	16
不動産事業	17
建材事業/石油事業/運輸事業	18

「中期経営計画2023」進捗と業績予想について 19

「中期経営計画2023」基本方針と基本戦略	20
「中期経営計画2023」進捗について	21
令和5年12月期 業績予想（連結）	22

令和4年12月期 決算業績概要

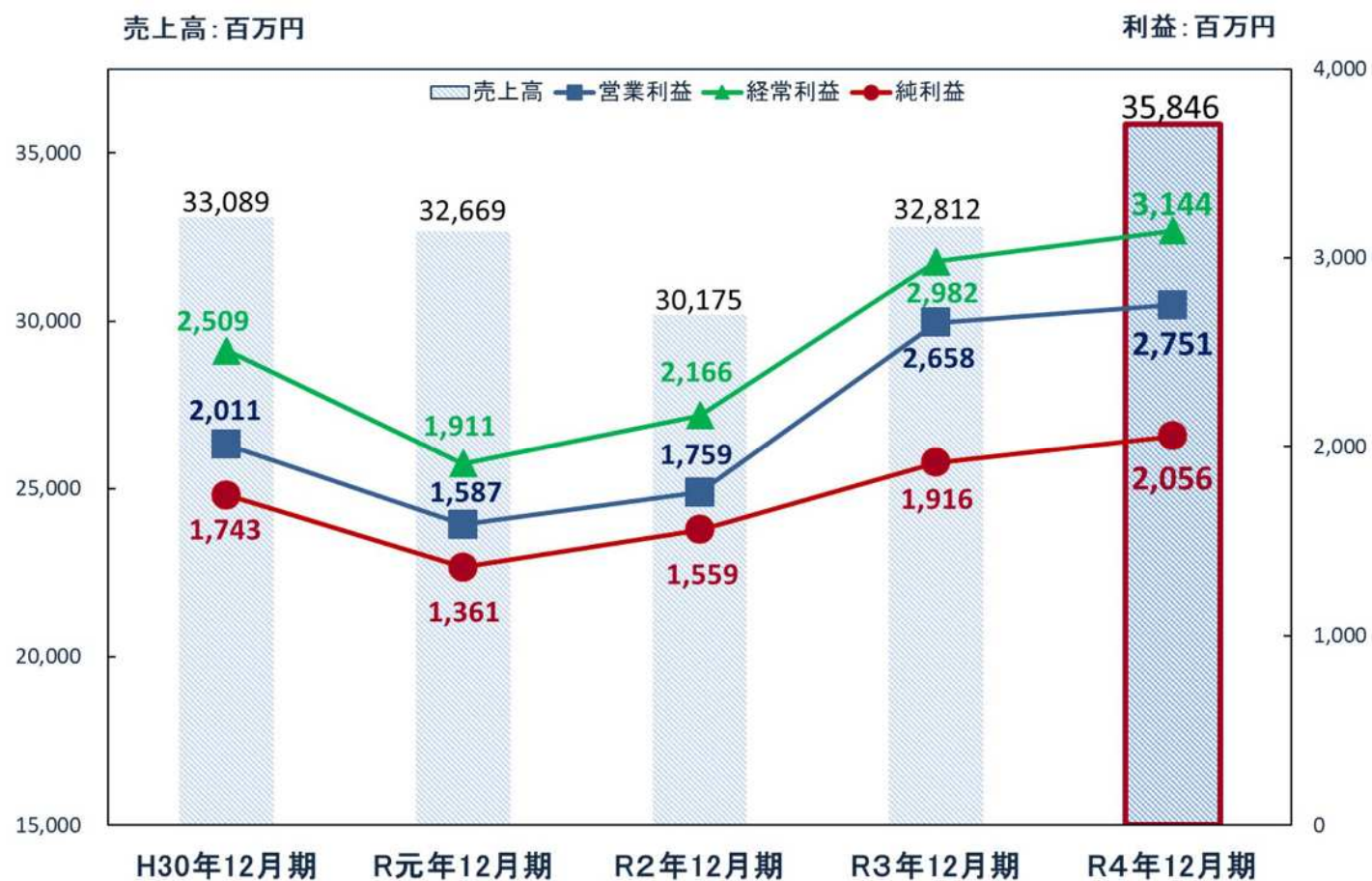
■ 令和4年12月期 業績概要（連結）

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 令和2年3月31日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、令和4年12月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前期増減率は記載しておりません。

単位：百万円

	R3年12月期	R4年12月期	対前期 増減率
売上高	32,812	35,846	－
営業利益	2,658	2,751	－
経常利益	2,982	3,144	－
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,916	2,056	－
1株当たり 年間配当金(円)	50	50 (予定)	－

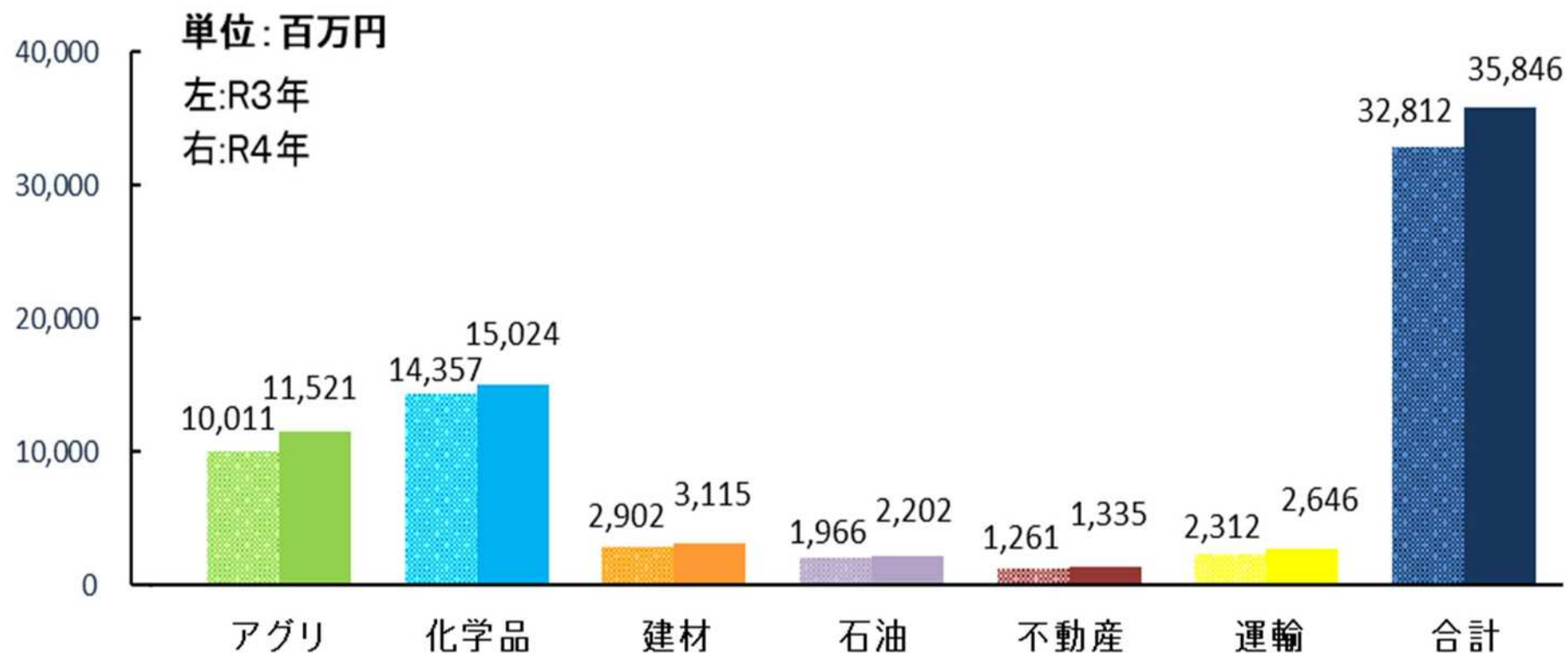
■業績の推移（連結）



■ 令和4年12月期 セグメント売上高（連結）

多木化学株式会社

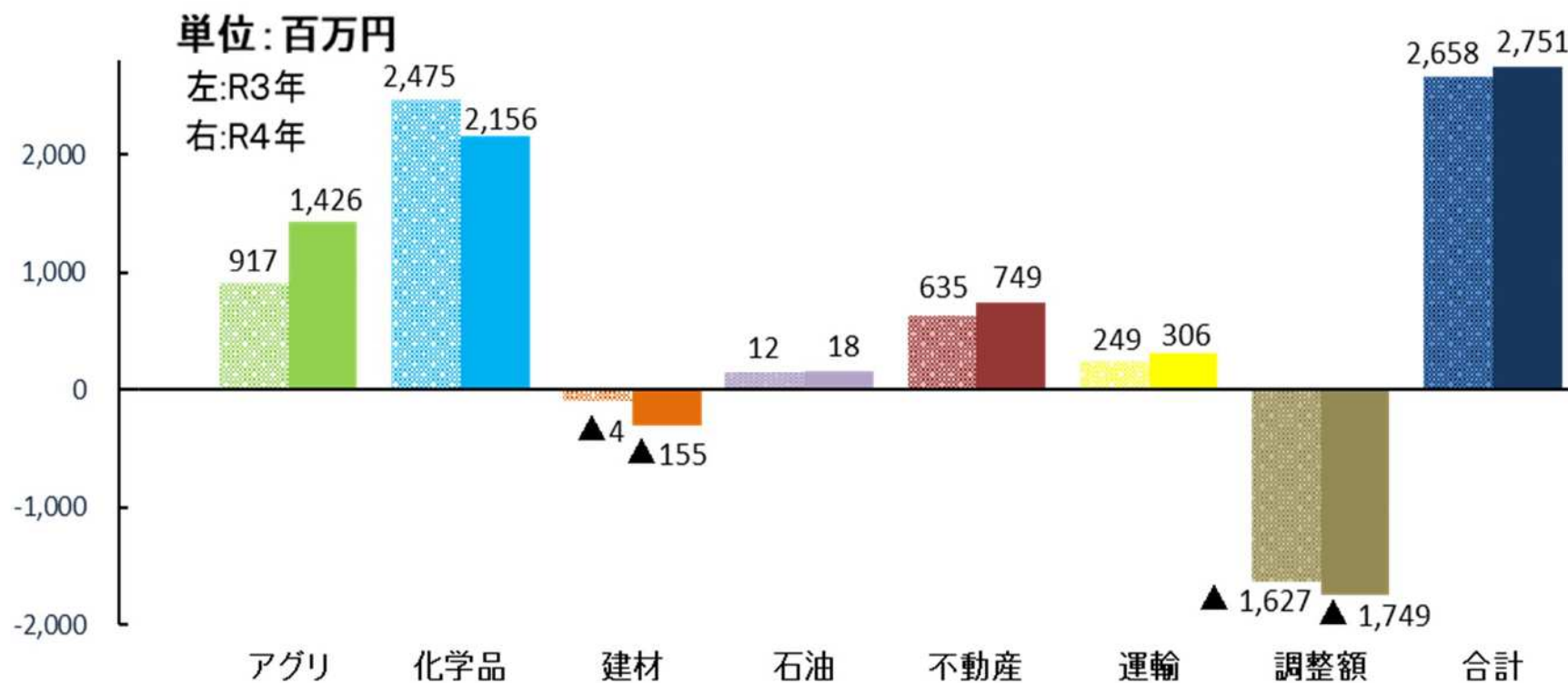
● 令和4年12月期セグメント売上高（連結）



■ 令和4年12月期 セグメント利益（連結）

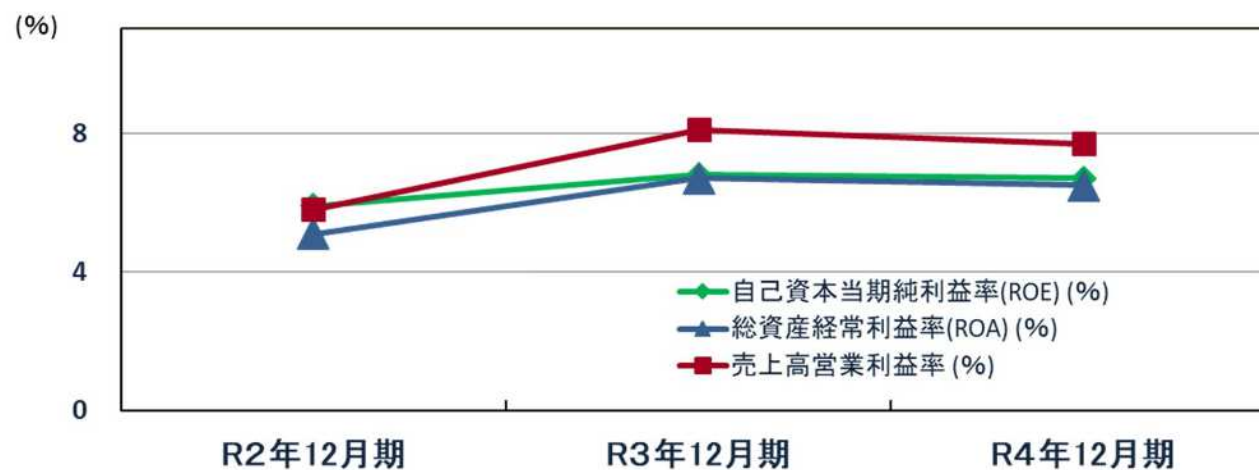
多木化学株式会社

● 令和4年12月期セグメント利益（連結）



■主要経営指標（連結）

	R2年12月期	R3年12月期	R4年12月期
自己資本当期純利益率(ROE) (%)	5.9	6.8	6.7
総資産経常利益率(ROA) (%)	5.1	6.7	6.5
売上高営業利益率 (%)	5.8	8.1	7.7



■貸借対照表（連結）

単位：百万円

		R3年12月期	R4年12月期	前期比
資 産	流動資産	22,352	26,039	+3,687
	有形固定資産	15,809	15,312	▲ 497
	無形固定資産	522	418	▲ 104
	投資その他	7,352	8,552	+1,200
総資産合計		46,037	50,323	+4,285
負 債	流動負債	8,596	9,973	+1,376
	固定負債	8,062	8,293	+230
負債合計		16,659	18,266	+1,607
純資産合計		29,378	32,057	+2,678
自己資本比率（％）		63.5	63.5	▲ 0.0
1株当たり純資産（円）		3,378.42	3,689.28	+310.86

■ キャッシュ・フローの状況（連結）

単位：百万円

	R2年12月期	R3年12月期	R4年12月期
営業活動による キャッシュ・フロー	3,024	2,823	1,444
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 1,009	▲ 2,319	▲ 1,083
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 561	▲ 498	▲ 543
現金及び現金 同等物期末残高	6,426	6,433	6,256

■ キャッシュ・フロー関連指数の推移（連結）

	H30年 12月期	R元年 12月期	R2年 12月期	R3年 12月期	R4年 12月期
自己資本比率（％）	60.1	61.5	62.7	63.5	63.5
時価ベースの自己資本比率（％）	116.3	94.8	131.3	109.0	78.4
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率（年）	1.3	0.9	1.0	1.0	1.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	143.8	212.1	227.6	222.1	118.3

■ 配当の状況

- 令和4年12月期は、1株当たり年間50円を予定しています。
- 令和5年12月期は、1株当たり年間50円を予想しています。

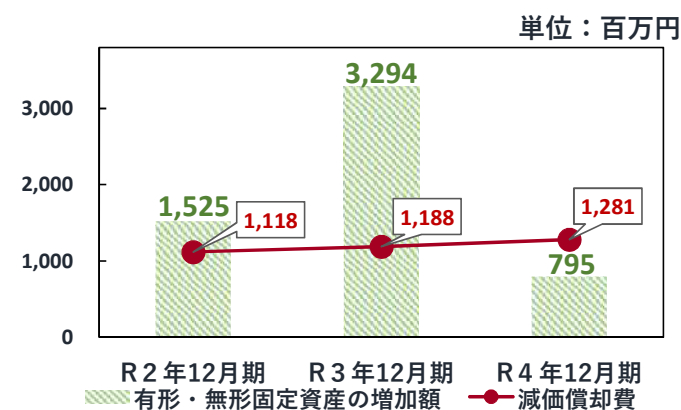
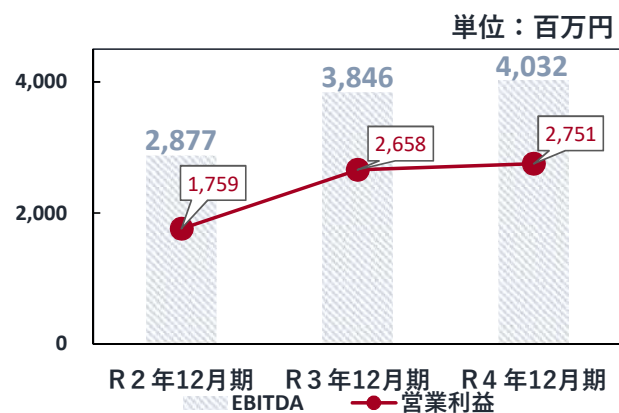


■ 連結経営指標等の推移

単位：百万円

連結	R2年12月期		R3年12月期		R4年12月期	
		前期比		前期比		前期比
営業利益	1,759	+172	2,658	+899	2,751	+93
有形・無形 固定資産の増加額	1,525	+633	3,294	+1,769	795	▲ 2,499
減価償却費	1,118	▲ 16	1,188	+70	1,281	+93
EBITDA ※	2,877	+156	3,846	+969	4,032	+186

※「営業利益＋減価償却費（のれんを含む）」にて算出



セグメント別実績

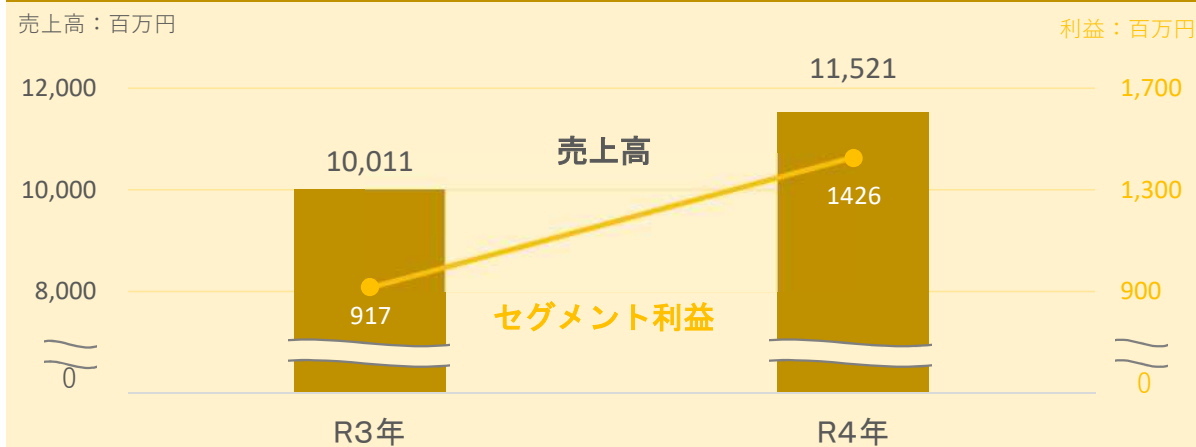
■セグメント別実績 -アグリ事業-

アグリ事業

経営成績等の概況

肥料の販売数量は値上がりを見越した駆け込み需要の反動で減少したものの、販売価格が原料価格の上昇により値上がりし、売上高は115億21百万円（前期は100億11百万円）となりました。

アグリ事業 売上高・セグメント利益



■セグメント別実績 -化学品事業-

化学品事業

経営成績等の概況

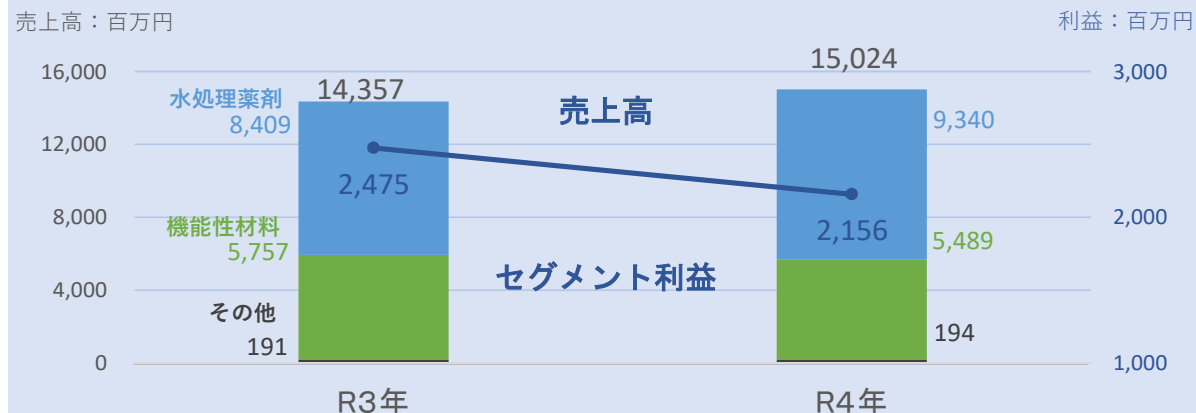
水処理薬剤は、販売数量が超高塩基度ポリ塩化アルミニウム等の好調な出荷により増加し、売上高は93億40百万円（前期は84億9百万円）となりました。

機能性材料は、自動車関連セラミック繊維向け高塩基性塩化アルミニウムの販売数量が半導体不足の影響により減少したことに加え、スマートフォン向け高純度酸化タンタルの需要が減退に転じたこともあり、売上高は54億89百万円（前期は57億57百万円）となりました。

その他化学品の売上高は1億94百万円（前期は1億91百万円）となりました。

それらの結果、売上高は150億24百万円（前期は143億57百万円）となりました。

化学品事業 売上高・セグメント利益



■セグメント別実績 -不動産事業-



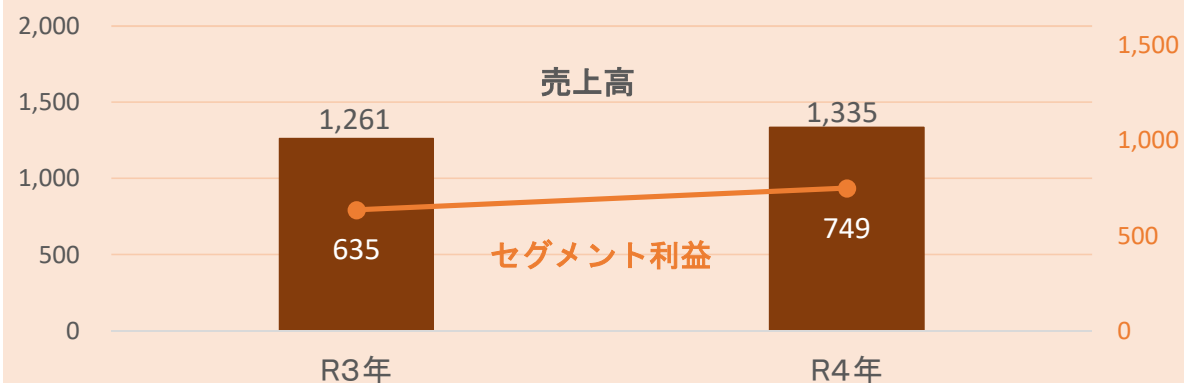
経営成績等の概況

ショッピングセンターの賃料収入が回復したことなどにより、売上高は13億35百万円（前期は12億61百万円）となりました。

不動産事業 売上高・セグメント利益

売上高：百万円

利益：百万円



■セグメント別実績 -建材事業/石油事業/運輸事業-

多木化学株式会社



	単位:百万円	
	R3年	R4年
売上高	2,902	3,115
セグメント利益	▲4	▲155



	単位:百万円	
	R3年	R4年
売上高	1,966	2,202
セグメント利益	12	18



	単位:百万円	
	R3年	R4年
売上高	2,312	2,646
セグメント利益	249	306

経営成績等の概況

建材事業：石膏ボードの販売数量は減少したものの、販売価格が上昇したことにより、売上高は31億15百万円（前期は29億2百万円）となりました。

石油事業：燃料油の販売数量は前期並みに推移したものの、販売価格が原油価格の高騰により値上がりし、売上高は22億2百万円（前期は19億66百万円）となりました。

運輸事業：内航輸送市場が回復基調にあることや荷役量の増加などにより、売上高は26億46百万円（前期は23億12百万円）となりました。

「中期経営計画2023」進捗 と業績予想について

■ 「中期経営計画2023」 基本方針と基本戦略

1 成長事業への 積極的投資

- 「バカマツタケ」の生産・販売体制の早期確立および事業化
- 「メディカル材料」「コラーゲン材料」「各種酸化物ナノ材料」などの開発商品の新規用途への展開および事業拡大

2 既存事業の 収益力向上

- 「アグリ事業（肥料）」「化学品事業（水処理薬剤）」における生産性向上、コスト削減および提案型営業による販売力の強化
- 長年培った技術力を活かした海外事業の推進

3 経営基盤の 強靱化

- 「事業継続計画（BCP）」の継続的改善
- 「労働安全衛生マネジメントシステム」の構築・運用
- 労働環境の改善や生産性向上に関わる設備の更新・保全

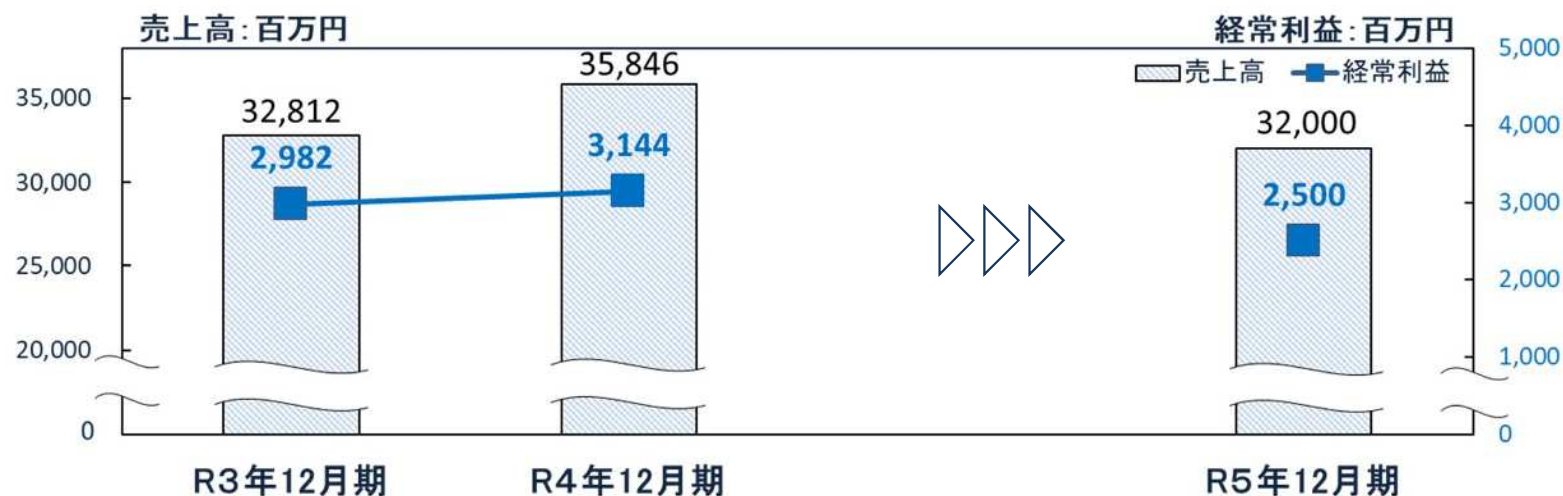
4 コンプライアンス 経営の推進

- コンプライアンス教育の実施およびコーポレート・ガバナンス体制の強化

■ 「中期経営計画2023」 進捗について

- 令和4年度は、アグリ事業では肥料の値上がりを見越した駆け込み需要が継続したことに加え、化学品事業の機能性材料では、スマートフォンに関連する製品を中心に需要回復が進みました。
その結果、当社グループの業績は、中期経営計画最終年度の目標数値を令和3年度に続いて上回る結果となりました。

	R3年12月期 実績	R4年12月期 実績	R5年12月期 (中期経営計画2023最終年目標)
売上高	32,812	35,846	32,000
経常利益	2,982	3,144	2,500
自己資本当期純利益率(ROE)	6.8%	6.7%	6.0%以上



■ 令和5年12月期 業績予想(連結)

- 「中期経営計画2023」の最終年度である令和5年度は、前年までの駆け込み需要の反動や原燃料価格の上昇に加え、半導体不足の長期化やスマートフォン需要が減退に転じた影響等により、経常利益目標の達成は難しい状況になっております。引き続き需要動向を的確にとらえた生産と販売価格の是正等に努めることで収益を確保してまいります。なお、令和6年を初年度とする次期中期経営計画は、気候変動への対応など、サステナビリティに関する目標も織り込み、持続可能な社会の実現と当社グループの企業価値向上に資するものとなるよう策定してまいります。

単位: 百万円

	R4年12月期 実績	R5年12月期 業績予想	差異
売上高	35,846	38,000	+2,154
営業利益	2,751	1,550	▲ 1,201
経常利益	3,144	1,900	▲ 1,244
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,056	1,400	▲ 656
1株当たり 当期純利益(円)	237.53	161.67	▲ 75.86

● **ご注意**

本資料には、連結業績予想等の将来予測情報が含まれております。それらの情報は、本資料の作成時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々なリスク要因や不確実な要素により大きく異なる可能性があります。

● **お問い合わせ先**

多木化学株式会社 総務人事部

〒675-0124 兵庫県加古川市別府町緑町2番地

TEL : 079-437-6002

FAX : 079-437-8822

URL : <https://www.takichem.co.jp>